

基礎分野

【基礎分野の考え方】

基礎分野は、看護の専門職を育成する上で基盤となる人間理解と人間形成のためのコミュニケーション能力、科学的思考を身につけ生涯に渡って学習し続ける分野である。看護にたずさわるものとして看護の対象である人間理解を深め、一人ひとりの人間の生命と価値を深く尊重できる倫理観を持てること、専門職になるために主体的に行動できる人材を育成することを目指している。

教育理念である人間尊重を基軸とし、「豊かな教養と感性を備えた人間性の育成」と看護を学ぶ上で必要な「人間理解」を深めていくため1～3年次まで段階的に教授していく。

専門分野の学習を進め、経験知を蓄積していくために、基礎分野においては、看護の対象となる人間の理解をするために人の見方、考え方に気づき思考できるよう、科学的なものの見方や捉え方を学び、豊かな感性と洞察力、思考力を育てていく。生活者としての人間を取り巻く環境や多様な価値観から現代社会の状況について学び人間を社会的側面からも捉えていく。人間関係の基盤となるコミュニケーション能力、社会人基礎力を身につけるための科目として「コミュニケーション論」「社会技能論」をおき、人との相互作用の中から培われるコミュニケーション能力を高め、「カウンセリング論」を組み込むことで、看護者として必要な聴く姿勢を身につける。

また医療現場でのICT化も急速に進むなかで情報通信技術を活用するため「情報リテラシー」を科目に入れ、情報をめぐる倫理的課題を考えるとともに基礎的な操作方法・情報処理の方法を習得することをねらいとした。

【目標】

1. 生命の尊厳や倫理を学び、看護の対象である人間を理解できる。
2. 人間を生活者として捉え、その環境である社会のしくみや変化などに触れ、社会的な視野を広げる力を身につける。
3. 人との相互作用を通し様々な考え方価値観に触れながら、自己理解・他者理解を深めていくためのコミュニケーション能力を高める。
4. 専門職業人として、自律的・主体的に行動していくための判断力・思考力を身につける。
5. 社会の動向に目を向け、社会の変化・地域社会に対応できる情報処理能力を身につける。

【構成及び計画】

講義

科目	単位数	時間数	学年別計画時期		
			1 年	2 年	3 年
情報科学	1	15			○
情報リテラシー	1	15	○		
社会技能論	1	30			○
社会学	1	30	○		
コミュニケーション論	1	30	○		
生物学	1	30	○		
生命倫理	1	15			○
心理学	1	15	○		
カウンセリング論	1	15		○	
法学	1	15	○		
国語表現	1	20	○		
英語	1	20	○		
英会話	1	30		○	
保健体育	1	30	○		
合計	14	310	9 (205)	2 (45)	3 (60)

基礎分野

科目名	情報科学	開講時期	単位数	時間数
		3 年次前期	1	15
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 情報の収集と整理、活用方法について学び、調査研究に必要な知識を理解する 2. 統計の基本的な考え方や方法を理解し、統計学手段を看護活動に活用する基礎的能力を身につける			
DP との 関連性	4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法
1	情報科学とは 統計学とは Excel の基本的な使い方			講義・演習
2	統計学基礎 検定と推定 尺度について			講義・演習
3	カイ 2 乗検定 理論値と実測値 仮説検定について			講義・演習
4	検定:平均値の検定			講義・演習
5	標準偏差と分散 標準偏差の応用問題 標準化と偏差値			講義・演習
6	散布図 相関係数			講義・演習
7	統計学まとめ			講義・演習
8	筆記試験(45 分)			
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書				
実務経験				

基礎分野

科目名	情報リテラシー	開講時期	単位数	時間数
		1 年次前期	1	15
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 看護に必要な情報収集と活用について学ぶとともに情報倫理の現状と必要性を理解できる 2. 情報の取り扱いを適切に行うスキルを身につけるための情報リテラシー、ネットワーク、情報システムについて基本的な知識を学ぶ 3. 知的財産、肖像権、プライバシーなど情報をめぐる倫理問題や法を学ぶとともに情報をどのように取り扱うべきか理解できる 4. パソコンの基本的操作を修得することができる			
DP との関連性	4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容		授業方法	
1	情報の概念と情報の基礎 情報の特性 情報の伝達とコミュニケーション インターネットの概念と操作 情報発信について		講義	
2	セキュリティと情報倫理 個人情報に関する法、著作権と知的財産 プライバシーと守秘義務 患者情報の取り扱い 医療現場における電子カルテの役割		講義	
3	パソコンの基本的操作と概念① 文書入力の基本操作		講義・演習	
4	パソコンの基本的操作と概念② ページ設定と印刷設定		講義・演習	
5	パソコンの基本的操作と概念③ 文書の編集		講義・演習	
6	パソコンの基本的操作と概念④ 表の作成と編集、罫線の活用		講義・演習	
7	パソコンの基本的操作と概念⑤ 画像や図形の活用		講義・演習	
8	実技試験(45 分)			
評価方法	実技試験 100 点			
教科書	Word & Excel 2021 実務出版			
実務経験				

基礎分野

科目名	社会技能論	開講時期	単位数	時間数
		3 年次後期	1	30
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 対人関係についての基本理論を学び、専門職業人として主体的に他者と関わる能力を身につける 2. ストレスマネジメントについての理解を深め、レジリエンスを高めることができる			
DP との 関 連 性	1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる 3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる 4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている 5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法
1	イントロダクション 対人関係としての看護職 対人関係の基礎理論 社会的認知			講義
2	対人関係の基礎理論① 説得と態度変化			講義
3	対人関係の基礎理論② 対人魅力			講義
4	対人関係の基礎理論③ 援助と攻撃			講義
5	対人関係の基礎理論④ 集団とリーダーシップ コミュニケーションの技術① 言語的コミュニケーションと非言語コミュニケーション			講義
6	コミュニケーションの技術② 聞き上手による方法			講義
7	コミュニケーションの技術③ 苦情への対応 コミュニケーションエラーとその予防			講義
8	人の行動を改善する パフォーマンスマネジメント			講義
9	SST とパフォーマンスマネジメント			講義
10	ストレスとストレスマネジメント① ストレスとストレッサー			講義
11	ストレスとストレスマネジメント② ストレス反応			講義
12	ストレスとストレスマネジメント③ ストレスコーピング			講義
13	ストレスとストレスマネジメント④ ストレスマネジメントレジリエンスを高める			講義
14	ストレスとストレスマネジメント⑤ ストレスに強い心を作る			講義
15	エピローグ バーンアウトとリアリティショック 看護の仕事をしていくために			講義
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書				
実務経験				

基礎分野

科目名		社会学	開講時期	単位数	時間数
			1 年次前期	1	30
担当教員		非常勤講師			
科目目標		1. 生活者としての人間を取り巻く社会について学び、人間を社会的側面から理解する 2. 多様な価値観のなかで幅広いものの見方ができる能力を養い、現代社会の状況について考えることができる 3. 対象を取り巻く環境や多様な社会の中での家族・ジェンダーの観点から多様な社会関係の中でのものの見方・考え方を理解する			
DP との 関連性		1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる 5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法	
1	社会学の誕生と歩み			講義	
2	社会学的思考と基礎概念			講義	
3	社会調査の理論と方法			講義	
4	保健医療社会学の成立と対象			講義	
5	健康と病気の社会学(1)健康と病気における社会学的視点			講義	
6	健康と病気の社会学(2)病気の経験と語り、病の文化			講義	
7	保健医療制度と専門職			講義	
8	地域社会と保健医療			講義	
9	保健医療の現代的課題			講義	
10	家族の機能、類型、歴史			講義	
11	少子高齢化とケアの課題			講義	
12	家族と婚姻をめぐる現代的課題			講義	
13	ジェンダーの社会学			講義	
14	多様な性と共生社会の実現			講義	
15	まとめ 筆記試験(45 分)				
評価方法		筆記試験 50% レポート 50%を総合し評価する			
教科書		社会学 医学書院			
実務経験					

基礎分野

科目名	コミュニケーション論	開講時期	単位数	時間数
		1 年次前期	1	30
担当教員	専任教員 非常勤講師			
科目目標	コミュニケーションの基礎を学び、体験学習を通して、自他の理解を深め、よりよい人間関係を築く基礎的能力を習得する			
DP との関連性	1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる 3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる 6. 医療チームの一員として多職種との連携・協働ができる 7. 変化する時代や地域社会のニーズに対応できるよう、多様な人々と連携・協働ができる 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法
1	コミュニケーション論の目的・社会人基礎力について ジョハリの窓による自己理解			講義
2	ジョハリの窓の自己開示・他者理解			グループワーク
3	多様性の受容・第一印象			グループワーク 演習
4	体験学習を通して、メンバーとの協調性			グループワーク 演習
5	聴く力・伝える力			
6	学びのまとめ・共有			
7				
8	接遇 社会人としてのマナー コミュニケーション			講義・演習
9	1. 社会人基礎力 3 つの能力(前に踏み出す力 考え抜く力 チームで働く力)についてチームにおける自己評価と課題の共有 2. ジョハリの自己評価と課題の共有			グループワーク
10	1. 看護学生としての振り返り 自己理解・他者理解を深める			発表
11	2. 看護者としてのコミュニケーションにおける自己の成長と課題を明らかにし発表			
12				
13				
14	チームの中での発信、協同、協調性の実践			グループワーク
15				
評価方法	授業への姿勢・取り組み、態度、レポートから総合的に判断する			
教科書				
実務経験				

基礎分野

科目名		生物学	開講時期	単位数	時間数
			1 年次前期	1	30
担当教員		非常勤講師			
科目目標		1. 生物の生態、生殖、遺伝と発生を学び、生物的存在としての人間さらには自然環境変化について理解する			
DP との 関連性		4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている			
		8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法	
1	生物学の基礎			講義	
2	細胞の構造			講義	
3	生物を構成する物質			講義	
4	栄養と代謝			講義	
5	遺伝とDNA			講義	
6	遺伝情報の発現			講義	
7	細胞の増殖と死			講義	
8	生殖、発生、分化			講義	
9	動物の組織			講義	
10	動物の器官			講義	
11	ホルモンと生体調節			講義	
12	神経系			講義	
13	免疫			講義	
14	生命システムの破綻 癌と老化			講義	
15	バイオテクノロジーと医療			講義	
評価方法		筆記試験 100 点			
教科書		医療・看護系のための生物学 裳華房			
実務経験					

基礎分野

科目名		生命倫理	開講時期	単位数	時間数
			3 年次後期	1	15
担当教員		非常勤講師			
科目目標		1. 医療現場にもたらされる様々な倫理的問題に取り組んでいくために、看護者に求められる倫理的問題に対応する知識・能力を身につける			
DP との関連性		1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる 3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる 5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法	
1	生命倫理についての基礎知識 生命倫理の歴史的潮流 ニュルンベルグ綱領・ヘルシンキ宣言・リスボン宣言			講義	
2	インフォームドコンセントと自己決定 臨床倫理の今日的課題			講義	
3	臨床倫理の今日的課題 医療現場で起こる倫理的葛藤 個人ワーク			講義	
4	臨床倫理の今日的課題 医療現場で起こる倫理的葛藤 グループ討議			講義・GW	
5	臨床倫理の今日的課題 医療現場で起こる倫理的葛藤 看護師としてのアドボカシー			講義・GW	
6	医療安全の基本的な考え方			講義	
7	患者の立場を守る看護職			講義	
8	まとめ			講義	
評価方法		レポートで100%評価する			
教科書					
実務経験					

基礎分野

科目名	心理学	開講時期	単位数	時間数
		1 年次前期	1	15
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 人間の認知、行動、心の発達と心理学的な立場から広く理解し、人間理解を深める			
DP との 関連性	1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる 3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる 4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法
1	心理学導入 心理学とは 発達と心理			講義
2	発達の心理			講義
3	性格・知能の心理 社会・集団の心理			講義
4	感覚・知覚の心理 記憶・学習の心理			講義
5	感情・動機の心理 健康の心理と人間理解			講義
6	臨床心理学の基礎			講義
7	応用行動分析による人間理解			講義
8	筆記試験(45 分)			
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書				
実務経験	本科目は公認心理士として実務経験のある教員による授業である			

基礎分野

科目名		カウンセリング論	開講時期	単位数	時間数
			2 年次前期	1	15
担当教員		非常勤講師			
科目目標		1. カウンセリングの基本姿勢と基本技法を理解する 2. カウンセリングにおける「聴く」ことの意義を理解する 3. 看護場面において心の援助を行うための基本的な知識と考え方、方法を理解できる			
DP との 関 連 性		1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる 4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている 5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法	
1	カウンセリングとは コミュニケーションスキル・ラポール形成			講義	
2	カウンセリングの基本姿勢・ヘルピングスキル			講義	
3	自分自身を知ることとは～アセスメントの諸技法			講義	
4	認知行動療法(1)～行動に焦点をあてたアプローチ			講義	
5	認知行動療法(2)～認知に焦点をあてたアプローチ			講義	
6	傾聴の演習			講義・演習	
7	職場のメンタルヘルス、ストレスコーピング			講義	
8	筆記試験(45 分)				
評価方法		筆記試験 100 点			
教科書					
実務経験		本科目は臨床心理士として実務経験のある教員による授業である			

基礎分野

科目名		法学	開講時期	単位数	時間数
			1 年次前期	1	15
担当教員		非常勤講師			
科目目標		1. 人の生活を守る法についての理解を深め、法的なものの見方を身につける 2. 個人の利益を擁護し、自己を護るために必要な基本的な法的知識を身につける			
DP との 関 連 性		1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法	
1	イントロダクション 法とは何か			講義	
2	刑事責任			講義	
3	民事責任			講義	
4	憲法			講義	
5	刑事裁判傍聴			講義・見学	
6	裁判員裁判制度について			講義	
7	労働法 臓器移植法 個人情報保護			講義	
8	筆記試験(45 分)				
評価方法		筆記試験 100 点			
教科書					
実務経験					

基礎分野

科目名	国語表現	開講時期	単位数	時間数
		1 年次前期	1	20
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 理論的な文章を書く際の文章作成上の基本を理解する 2. 科学的・論理的思考に基づいた文章表現を学び、看護師として論文・レポートの構成ができる力を身につける			
DP との関連性	1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法
1	文章表現の基礎 表記の仕方 語句の用法と文のくぎり方			講義
2	文章表現の基礎 文章のリフォーム 推敲			講義
3	文章表現の基礎 わかりやすい説明の方法			講義
4	小論文Ⅰ 意見を論理的に述べる			講義
5	小論文Ⅰ 文章の型 構成の方法 構成ノート			講義
6	小論文Ⅰ つなぐ言葉			講義
7	小論文Ⅱ 要約の方法 引用と情報源の明示			講義
8	レポート・論文の基本的な書き方			講義
9	レポート・論文の基本的な書き方			講義
10	人とつながる言葉 待遇表現 敬語によるコミュニケーション 敬語の種類 言葉を届ける 手紙の書き方			講義
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書				
実務経験				

基礎分野

科目名	英語	開講時期	単位数	時間数
		1 年次前期	1	20
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 英語の基礎力を高め、医療現場で必要とされる英語力を身につける			
DP との 関 連 性	4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法
1	オリエンテーション 授業の進め方とテキストについて Vocabulary quiz and short essay Lesson1 listening Q and A pair work			講義
2	Lesson 2 and 3 listening Q and A vocabulary, expression check pair work			講義
3	Reading Lesson 4 and 5 listening pair work and role play			講義
4	Review quiz Lesson6 listening Q and A pair work vocabulary, expression check			講義
5	Lesson7 listening Q and A vocabulary, expression check pair work			講義
6	Lesson8 listening Q and A Vocabulary check body parts external,internal			講義
7	Lesson9 listening Q and A vocabulary and expression check other symptoms			講義
8	Lesson10 listening Q and A vocabulary and expression check pair work			講義
9	Lesson11 listening Q and A vocabulary and expression check pair work			講義
10	Lesson12 listening Q and A vocabulary and expression check Review			講義
評価方法	筆記試験 小テスト 40%、終講試験 60%を総合して評価する			
教科書	How are you feeling today ? やさしい看護英語 成美堂			
実務経験				

基礎分野

科目名	英会話	開講時期	単位数	時間数
		2 年次前期	1	30
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 英会話の基礎を身につける			
DP との 関連性	4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる			
回数	学習内容			授業方法
1	オリエンテーション Unit 1 Is this your first visit to this hospital?			講義
2	Unit 1 Is this your first visit to this hospital?			講義
3	Unit 2 what's the matter?			講義
4	Unit 3 You need to see a Dermatologist.			講義
5	Unit 4 Let me direct you to Radiology.			講義
6	Unit 4/5 Let me direct you to Radiology. / Let's check your height and weight.			講義
7	Unit 5/6 Let's check your height and weight. / I need to ask you some questions.			講義
8	Unit 6 I need to ask you some questions.			講義
9	Unit 7 Can you describe the pain?			講義
10	Unit 8 Rest your arm on the armrest.			講義
11	Unit 9 Please make a follow-up appointment.			講義
12	Unit 9/10 Please make a follow-up appointment. / Take this medicine after meals.			講義
13	Unit 10/11 Take this medicine after meals. / Your operation will be this afternoon.			講義
14	Unit 11 Your operation will be this afternoon.			講義
15	まとめ 試験			講義・試験
評価方法	スピーキングテスト 100 点			
教科書	English for Nurses 看護系学生のための実践英語 改訂版 朝日出版社			
実務経験				

基礎分野

科目名		保健体育	開講時期	単位数	時間数
			1 年次前期	1	30
担当教員		非常勤講師			
科目目標		1. 運動前後における準備の知識の習得と実技を通して心身の健康を保持・増進を図る 2. 集団における活動の中で、個人のメンタルコントロールやコミュニケーションなど社会的スキルの向上を目指す			
DP との 関連性		1. 豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる 2. 自己を客観的に見つめ内省することができる			
回数	学習内容			授業方法	
1	ガイダンス 運動を行う際の注意事項 準備体操の必要性			実技	
2	バレーボール 基本			実技	
3	バレーボール 基本・ゲーム			実技	
4	バレーボール 基本・ゲーム			実技	
5	バトミントン ゲーム			実技	
6	バスケットボール 基本			実技	
7	バスケットボール 基本・ゲーム			実技	
8	バスケットボール 基本・ゲームゲーム			実技	
9	バスケットボール 基本・ゲーム			実技	
10	まとめ			実技	
評価方法		出席状況 授業態度 実技実施状況などから総合的に判断する			
教科書					
実務経験					